

## 令和4年度 三田市協働事業提案制度 「ええやん！やってみよっ！」

団体名： 明治二年・三田百姓一揆記念碑を建てる会

提案事業名： 明治二年・三田百姓一揆記念碑建立事業

明治二年三田で百姓一揆が起きました。当時三田地方は冷害など酷い自然災害に見舞われ農作物は大凶作。年貢はおろか、自分たちの食べる米すらままならぬ窮状となりました。その為合法的な手段として、庄屋を通して年貢の半減を藩に嘆願したのですが願いは叶わず、再度の嘆願も聞き届けられませんでした。そこで百姓は強訴（一揆）に出ました。

しかし、一揆が起こったという事実は一部で知られているものの、その内容についてはほとんど知られていないのが現状です。一揆の指揮をとった仲惣左衛門が罪人として処刑されたこともあり、関連する情報はあまり出回らなかったのも原因と考えます。

時代が変わり、一揆という出来事を俯瞰的に判断しやすくなり、また関連する文書が出てきている今、一揆が起きたという事実を後世に伝える碑を建立する事で、当時の関係者の思いに寄り添い、恵まれた現代の暮らしに感謝するとともに、三田の歴史、文化に触れる機会にもなり、郷土を愛する一助になると考えます。

記念碑の製作費については市民の皆様からの寄付を募っていきます。寄付のきっかけとして市内各地で講演会や勉強会を開催し、参加者に一揆の事を知って頂きながら、気持ちのこもった寄付を受け付けたいと思います。

一方的に記念碑を建立して、自分たちだけが満足するのではなく、一人でも多くの方の理解を得て、気持ちを結集した記念碑とすることを目標にしています。

また、HPを作成し、明治二年・三田百姓一揆を知ることが出来る資料の保管庫とします。記念碑からQRコード等を通じてHPに関心をもって頂けるように誘導します。HPには一揆に関連する書物を置くことで、記念碑を単なる観光資源としてだけではなく、百姓一揆という三田の歴史を深く知るための入場門として位置づけたいと考えています。